

BOSE

QUIETCOMFORT ULTRA HEADPHONES (2ND GEN)

安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

適合宣言書については、www.Bose.com/complianceを参照してください。

CE Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。

安全上の留意項目

この製品を水の近くで使用しないでください。

お手入れは乾いた布か水で湿らせた布で行ってください。洗剤などは使用しないでください。

必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。

修理が必要な際には、**Bose**カスタマーサービスにお問い合わせください。製品が正常に動作しない場合や、物理的に破損した場合には、修理が必要です。

警告/注意



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。**3歳未満のお子様には適していません。**



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。



この記号は、本製品で互換性のない電池/バッテリーや不適切な方法で取り付けられた電池/バッテリーを使用すると、安全上の問題が発生する可能性があることを意味しています。電池/バッテリーに関するサービスオプションについては、**Bose**カスタマーサービスにお問い合わせいただくか、bose.com/battにアクセスして詳細をご確認ください。

- ・火災や感電を避けるため、雨や水滴、飛沫、湿気などにさらされるような場所で本製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を本製品の上や近くに置かないでください。
- ・本製品では、**Bose**認定の互換性のある電池/バッテリーのみをご使用ください。電池/バッテリーに関するサービスオプションについては、**Bose**カスタマーサービスにお問い合わせください。
- ・電池/バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎など、過度な熱にさらさないでください。
- ・本製品に付属の電池/バッテリーは、取り扱いを誤ったり、正しく交換しなかったり、誤ったタイプの電池/バッテリーと交換したりすると、火災や爆発、化学やけどなどの原因になる恐れがあります。
- ・電池/バッテリーが液漏れしている場合は、漏れた液に触れたり目に入れたりしないでください。液が身体に付着した場合は、医師の診断を受けてください。
- ・ヘッドホンの回転、折りたたみ、ケースへの収納、ケースからの取り出しの際は、左右のイヤークップの真ん中あたりに手を置いてください。指を挟まないように、ヒンジに指を近づけないようにしてください。
- ・本製品はお子様のご使用を想定していません。
- ・耳への負担を避けるため、ヘッドホンを高音量で使用しないでください。再生機器の音量を下げてからヘッドホンに耳に装着し、快適な適度な音量になるまで少しずつ音量を上げてください。
- ・車両の運転中に本製品を使用することは、一部の国や地域では法律で禁止されている場合があります。使用について十分な注意を払い、適用される法律に従ってください。本製品の使用により、注意力が低下する場合や、自動車の運転中にアラームや警告音など周囲の音が聞き取れなく場合は、直ちに使用を中止してください。
- ・ヘッドホンを使用しながら、注意力が求められる活動をする場合は、注意してください。車道、建設現場、線路などの付近を歩いているときなど、外部音がはっきり聞こえないことによって自身や他の人に危険が生じる可能性がある場合は、ヘッドホンを使用しないでください。
- ・ヘッドホンから異常な音が聞こえる場合は、ヘッドホンを使用しないでください。そのような場合は、ヘッドホンの電源をオフして**Bose**カスタマーサービスにご連絡ください。

- ・ 製品から熱が発生していることに気づいたら、すぐに外してください。
- ・ 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- ・ この製品には、法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠したLPS電源アダプターのみをお使いください。
- ・ 許可なく製品を改造しないでください。
- ・ 暖炉、ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。

警告: 潤滑剤、洗浄剤、接点スプレー、炭化水素系溶剤など、Boseが指定していない化学物質に製品をさらさないでください。このような物質にさらされると、プラスチック素材が劣化し、ひび割れが生じたり危険な状態を引き起こしたりする可能性があります。

注: 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示どおりに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをおすすめします。

- ・ 受信機やアンテナの向きや位置を変える。
- ・ 機器と受信機の間隔を広げる。
- ・ 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- ・ 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

このデバイスは、FCCおよびカナダ イノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

この製品はIMDAの要件に適合しています。

FCC ID: A94443987 | IC: 3232A-443987

CAN ICES (B) / NMB (B)

ヨーロッパ向け: 運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz | 最大送信出力 20 dBm EIRP 未滿

比吸収率(SAR)に関する情報

周波数帯	報告済みの最大SAR (W/kg)
	SAR 1gにスケール
BT-EDR	0.21
SAR制限 (W/kg)	1.6



この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスに関する技術規則: 会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまで直ちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信管理法に基づいて運用される無線通信を意味します。低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。



充電器から供給される電力は、無線機器に必要な最小1.8ワット以上であり、最大充電速度を達成するには最大2.5ワット以下でなければなりません。

製品の電力状態

本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECおよびエネルギー関連製品およびエネルギー情報のエコデザイン(改正)(EU離脱)規則2020に基づき、以下の規範または文書に準拠しています。Commission Regulation (EU) 2023/826。

電力状態に関する必須情報	電力モード	
	スタンバイ	ネットワーク待機状態
当該電力モードでの消費電力(230V/50Hz入力)	< 0.5 W	Bose ワイヤレス < 2.0 W
機器が自動的にモードに切り替わるまでの時間	≤ 20分	≤ 20分
すべての有線ネットワークポートが接続され、すべてのワイヤレスネットワークポートが有効な場合の、ネットワーク待機モードの消費電力(230V/50Hz入力)	該当なし	≤ 2.0 W
ネットワークポートの有効化/無効化手順。すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。	Bluetooth®: 有効化するには、Bluetooth ソース機器とペアリングします。無効化するには、Bluetooth ボタンと多機能ボタンを同時に長押しして、ペアリングリストを消去します。30 ページをご覧ください。	

USB 電源は、出力電流/電力定格が0.5A/2.5W 以上のものを使用してください。

この製品からリチウムイオンバッテリーを取り外さないでください。取り外しはサービス担当者にお任せください。

この製品の充電式リチウムイオンバッテリーの取り外しはサービス担当者にお任せください。詳細につきましては、弊社Webサイトを参照してください。



商電池請回収

使用済みの電池/バッテリーは、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。



Li-ion



R-C-Bos-443987
보스코리아 유한회사

有毒/有害物質または成分の名称および含有量

	有毒/有害物質および成分									
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミ ウム (Cd)	六価ク ロム (CR(VI))	ポリ臭化ビ フェニル (PBB)	ポリ臭化ジ フェニル エーテル (PBDE)	フタル 酸ジブ チル (DBP)	フタル酸 ジイソ ブチル (DIBP)	フタル酸 ブチルベ ンジル (BBP)	フタル酸ビス (2-エチルヘキ シル)(DEHP)
PCB	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
金属パーツ	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
プラスチック パーツ	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
スピーカー	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
ケーブル	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。										
O: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。										
X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。										
										

機器名: ヘッドホン 型式: 443987						
制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr ⁶⁺)	ポリ臭化ビフェ ニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエ テル (PBDE)
PCB	—	○	○	○	○	○
金属パーツ	—	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	—	○	○	○	○	○
ケーブル	—	○	○	○	○	○
注1:「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。						
注2:「—」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「5」は2015年または2025年です。

輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100 | Bose Products B.V., Vijzelstraat 68, 1017HL Amsterdam, The Netherlands | Ingram Micro Mexico SA de CV, Joselillo 3 Int. Piso 5 Col. El Parque, Naucalpan de Juarez, Edo Mex 53398 電話 番 号 : +52 55 5263 6500 | Bose Limited (H.K.), 7F., No. 2, Sec.3, Minsheng E. Road, Zhongshan Dist., Taipei City 104511, 電話番号: +886-2-2514 7676 | Bose Limited, 16 Dufour's Place, London W1F 7SP

メキシコのサービスの電話番号: 0800-266-0292

入力定格: 5V ≒ 0.5A

モデル: 443987. CMIIT ID はイヤークップ内側の布地の下に記載されています。

この製品には **Bose の利用条件** が適用されます: [worldwide.bose.com/termsfuse](https://www.worldwide.bose.com/termsfuse)

ライセンス開示情報: Bose QuietComfort Ultra Headphones (第2世代) のコンポーネントとして含まれるサードパーティ製ソフトウェアパッケージに適用されるライセンスの開示内容を表示するには、**Bose アプリ** を使用します。この情報は設定メニューから表示できます。

Apple、Apple のロゴ、iPad、iPhone、および macOS は Apple Inc. の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社の子会社のライセンスに基づき日本国内で使用されています。

Made for Apple バッジの使用は、アクセサリがバッジに記載されている Apple 製品への接続専用に設計され、Apple 社が定める性能基準に適合しているとデベロッパによって認定されていることを示します。Apple 社は、本製品の動作や、安全性および規制基準の適合性について、一切の責任を負いません。

Bluetooth® のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標で、Bose Corporation はこれらの商標を使用する許可を受けています。

Google、Android、および Google Play は Google LLC の商標です。

Microsoft Teams は Microsoft グループの商標です。

Snapdragon Sound は Qualcomm Technologies, Inc. とその子会社の製品です。Qualcomm、Snapdragon、および Snapdragon Sound は Qualcomm Incorporated の商標または登録商標です。

この製品には Spotify ソフトウェアが組み込まれており、次のサイトに掲載されたサードパーティのライセンスが適用されます: www.spotify.com/connect/third-party-licenses

Spotify は Spotify AB の登録商標です。

USB Type-C® および USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。

Bose、B の ロ グ、QuietComfort、ActiveSense および SimpleSync は、Bose Corporation の 商 標 で す。| Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639 | ©2026 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

シリアル番号と認証マークの位置: これらの情報は、イヤークップ内側の布地の下に記載されています。イヤークッションを取り外し、布地の上端をつまんで、情報が見えるまでゆっくりと剥がしてください。

製品情報の控え

シリアル番号: _____

モデル番号: 443987

ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト (worldwide.Bose.com/ProductRegistration) から簡単に行えます。

内容物の確認

内容物	11
-----------	----

BOSE アプリ

Bose アプリをダウンロードする	12
-------------------------	----

ヘッドホンの操作

電源オン	14
電源オフ	15
平らに置いて接続解除する	16
メディアの再生と音量調節	17
通話	18
モード	19
イマーシブオーディオ設定	19
機器の音声コントロール	19

ショートカット

ショートカットを有効化、無効化、変更する	20
ショートカットを使用する	20

装着検出

自動再生/一時停止	21
着信自動応答	21

ノイズキャンセリング

ノイズキャンセリング機能の設定変更	22
通話中のノイズキャンセリング機能について	22
ノイズキャンセリング機能のみを使用する	22

イマーシブオーディオ

イマーシブオーディオ設定.....	23
イマーシブオーディオ機能の設定変更	24
モードを変更する	24
ショートカットを使用する	24

リスニングモード

モード	25
ActiveSense アウェアモード	25
モードを変更する	26
お気に入りを設定し、ヘッドホンからカスタムモードを追加または削除する	26

BLUETOOTH® 接続

Bose アプリを使用して接続する	27
機器の Bluetooth メニューを使用して接続する	27
機器の接続を解除する	28
機器を再接続する	28
別の機器を接続する	29
オーディオをストリーミングする際、接続されている2つの機器を切り替える	29
前に接続していたモバイル機器を再接続する	30
Bluetooth のペアリング済み機器リストをクリアする	30
Android™ デバイスのみ	31
Fast Pair 機能を使用して接続する	31
Snapdragon Sound™ テクノロジー	32

ケーブル接続

AUX オーディオケーブルを接続する	33
USB オーディオ	34

バッテリー

ヘッドホンを充電する	35
充電時間	36
再生時間	36
バッテリー残量の確認	36

ヘッドホンの状態

<i>Bluetooth</i> 接続の状態	37
バッテリーの状態	38
電源と充電の状態	38
アップデートとエラーの状態	38

BOSE 製品への接続

Bose Smart Speaker または Bose Smart Soundbar に接続する	39
特長	39
対応製品	39
Bose アプリを使用して接続する	40
製品を操作して接続する	41
Bose Smart Speaker または Soundbar に再接続する	41

補足事項

ヘッドホンを収納する	42
ヘッドホンをアップデートする	44
ヘッドホンのお手入れ	44
交換部品とアクセサリ	44
保証	44
シリアル番号と認証マークの位置	45

トラブルシューティング

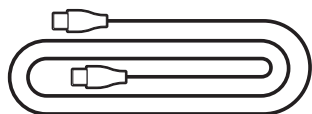
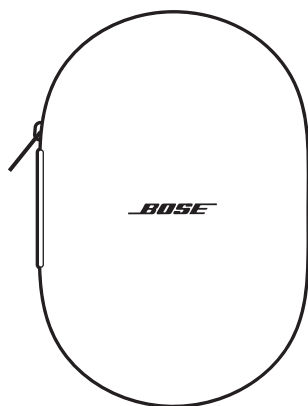
ヘッドホンをリセットする	48
ヘッドホンを工場出荷時の設定に戻す	49

内容物

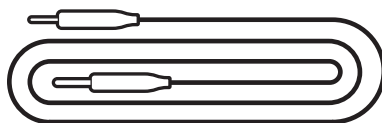
下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Bose QuietComfort Ultra Headphones (第2世代) キャリーケース



USB-C® - USB-C ケーブル



3.5 mm - 2.5 mm オーディオケーブル

注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが見られた場合は、使用しないでください。トラブルシューティング情報(記事、ビデオ)と製品の修理や交換については、support.Bose.com/qcu2をご参照ください。

Bose アプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどの機器からヘッドホンのセットアップや操作が行えます。

このアプリを使用して、*Bluetooth* 接続の管理、ヘッドホンの設定の管理、音量の調節、音声ガイドの言語の選択、Bose が今後提供するアップデートや新機能の適用を行うことができます。

注: 他の Bose 製品用に Bose アプリを既にダウンロードしている場合は、メイン画面からヘッドホンを追加できます。

BOSE アプリをダウンロードする

1. お使いの機器で Bose アプリをダウンロードします。



2. アプリの手順に従ってください。

ヘッドホンの操作部は右イヤークップの後ろ側にあります。



電源オン

Bluetooth/電源ボタンを押します。



数秒後、ピープ音が聞こえます。ステータスインジケーターが現在の充電状態に応じて点灯します(38ページを参照)。

注:

- ヘッドホンの電源をオンにし、起動音が聞こえると、最高の音響性能を実現するように、耳に合わせてオーディオが調整されます。
- ピープ音を聞くには、ヘッドホンを頭に装着する必要があります。

電源オフ

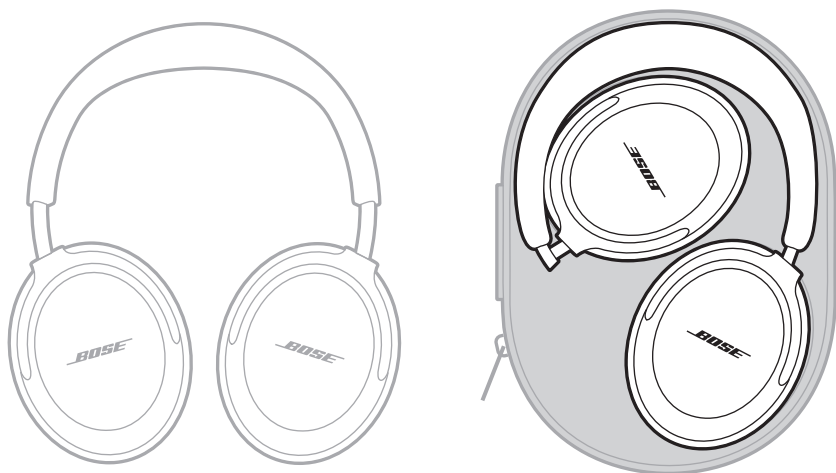
ビープ音が聞こえ、ステータスインジケーターが白で2回点滅するまで、*Bluetooth*/電源ボタンを長押しします。



注: ヘッドホンの電源をオフにすると、ノイズキャンセリング機能もオフになります。

平らに置いて接続解除する

ヘッドホンを頭から外してイヤークップを平らにするか、ケースに収納すると、3秒後にヘッドホンと機器間の接続が解除されます。



ヘッドホンを頭から外して平ら以外の向きで放置すると、10分後に機器から接続が解除されます。ヘッドホンを再接続するには、ヘッドホンを頭の上に装着します。

イヤークップを平らにした状態でヘッドホンの接続が解除されてから20分間経過するか、その他の方向で10分間経過すると、ヘッドホンは自動的にスリープ状態になり、バッテリーを節約します。ヘッドホンをスリープ状態から復帰するには、ヘッドホンを頭の上に装着するか、**Bluetooth/電源**ボタンを押します。

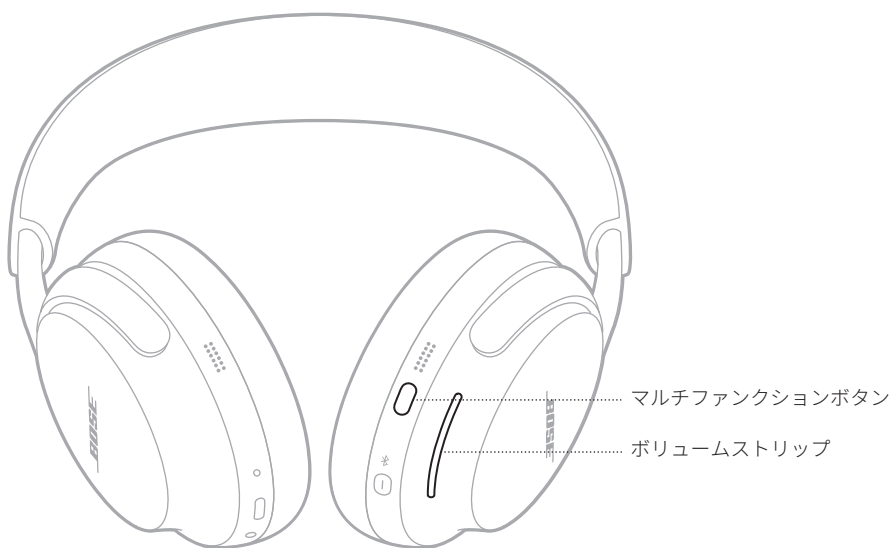
注:

- **Bluetooth/電源**ボタンを使用してヘッドホンの電源がオフになっている場合は、**Bluetooth/電源**ボタンを押すとヘッドホンの電源がオンになります。
- バッテリーが切れている場合は、ヘッドホンを充電してから、**Bluetooth/電源**ボタンを押してヘッドホンの電源を入れてください。

メディアの再生と音量調節

マルチファンクションボタンでメディアの再生をコントロールします。

ボリュームストリップで音量を調節します。



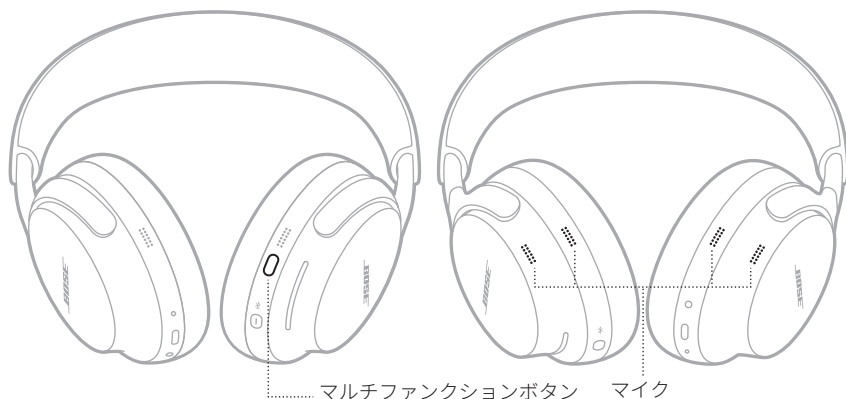
機能	操作方法
再生/一時停止	マルチファンクションボタンを押します。
トラック送り	マルチファンクションボタンを続けて2回押します。
トラック戻し	マルチファンクションボタンを続けて3回押します。
音量を上げる	ボリュームストリップを上にはスワイプします。
音量を下げる	ボリュームストリップを下にはスワイプします。

注: 音量をすばやく調節するには、ボリュームストリップを長くスワイプします。

通話

マルチファンクションボタンで、通話機能をコントロールします。

ヘッドホンの前面には通話用のマイクが4つ(左のイヤークップに2つ、右のイヤークップに2つ)あります。



機能

操作方法

着信に応答する	マルチファンクションボタンを押します。
着信に応答せず切る	マルチファンクションボタンを続けて2回押します。
通話中の相手を保留にして割込み着信に応答する	通話中に割込み着信があったら、マルチファンクションボタンを押します。
割込み着信を拒否して、現在の通話を続ける	通話中に割込み着信があったら、マルチファンクションボタンを続けて2回押します。

モード

マルチファンクションボタンを使用して、モード間をすばやく簡単に切り替えることができます。

モードの変更方法は、26ページをご覧ください。

イマーシブオーディオ設定

イマーシブオーディオ設定の変更については、24ページをご覧ください。

機器の音声コントロール

ショートカットを設定することで、ヘッドホンを使って機器の音声コントロールにすばやくアクセスできます。ヘッドホンに内蔵されているマイクが機器の外部マイクとして機能します。

ショートカットについては、20ページをご覧ください。

注: 通話中は音声コントロール機能を使用できません。

ショートカットを使用して、以下の機能にすばやく簡単にアクセスすることができます。

- オーディオ設定を順に切り替える (23 ページを参照)
- Spotify の音楽を再生する
- 機器の音声コントロール機能を使用する (19 ページを参照)

ショートカットを有効化、無効化、変更する

ショートカットを有効化、無効化、変更するには、Bose アプリを使用します。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「ショートカット」をタップします。

ショートカットを使用する

ボリュームストリップを長押しします。



装着検出では、センサーを使用して、ヘッドホンを装着していることを識別します。音楽の再生/一時停止の切り替えや着信への応答を自動で行うことができます。

注: 装着検出機能を管理するには、**Bose** アプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

自動再生/一時停止

右イヤークップを耳から離すか、ヘッドホンを外すと、音楽の再生が一時停止します。

再生を再開するには、右イヤークップを耳に当てるか、ヘッドホンを装着します。

着信自動応答

ヘッドホンを装着して電話に出ることができます。

ノイズキャンセリングで周囲の不要なノイズを抑制することにより、よりクリアで臨場感のあるサウンドを再生できます。

デフォルトでは、電源をオンにするとヘッドホンはクワイエットモードになります。ノイズキャンセリングレベルは最大になります(25ページを参照)。

ノイズキャンセリング機能の設定変更

モードの変更により、プリセットされたノイズキャンセリング機能の設定を切り替えることができます。モードについては、25ページをご覧ください。

注: ヘッドホンの電源をオンにすると、最後に使用した設定になります。

ヒント: ノイズキャンセリングの設定は、Boseアプリを使用して変更することもできます。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「ノイズコントロール」をタップしてください。

通話中のノイズキャンセリング機能について

電話をかけたり受けたりするときは、ヘッドホンのノイズキャンセリングレベルはそのときの設定が継続され、セルフボイスがONになります。セルフボイスにより、自分の声が聞こえることでより自然に話すことができます。

通話中にノイズキャンセリング機能を調整するには、モードを変更します(26ページを参照)。

注: セルフボイスを調整するには、Boseアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

ノイズキャンセリング機能のみを使用する

音楽や通話に妨げられることなく、ノイズキャンセリング機能のみを使用することができます。

1. 次のいずれかを実行します。
 - ・ 機器の接続を解除します(28ページを参照)。
 - ・ 機器のBluetooth機能をオフにします。
2. マルチファンクションボタンを長押しして、モードを変更します(26ページを参照)。

注: 機器を再接続するには、機器のBluetoothリストからヘッドホンを選択するか、Boseアプリを使用して接続します(12ページを参照)。

イマーシブオーディオでは、頭の中で聞こえている音を目の前に定位させ、常に音響空間のスイートスポットにいるような感覚を味わうことができます。まるでヘッドホンの外から音が聞こえてくるように感じるので、より自然なリスニング体験ができます。イマーシブオーディオは、あらゆるソースのあらゆるストリーミングコンテンツに対応し、より透明感のあるサウンドと豊かな音質で新たなレベルへと導きます。

注: 電話をかけたり受けたりする際は、イマーシブオーディオが一時的にオフに設定されます。通話を終了すると、ヘッドホンは直前のイマーシブオーディオ設定に戻ります。

イマーシブオーディオ設定

設定	説明	使用するタイミング
移動	サウンドは目の前にある2本のステレオスピーカーから再生されているように聞こえ、頭の動きに合わせて位置が変わります。 注: イマーシオンモードでは、この設定がデフォルトで使用されます。	この設定を使用することで、より安定したリスニング体験が得られます。頻繁に首を回したり、下を向いたりするような活動をしているときに最適です。
静止	サウンドは目の前にある2本のステレオスピーカーから再生されているように聞こえ、頭を動かしてもその位置は変わりません。 注記: - 頭の動きを止めてから数秒後、スピーカーは現在のポジションで音像の中央を設定し直します。 - このオプションを利用するには、Bose アプリを使用します。メイン画面の「イマーシブオーディオ」をタップします。	最もリアルで迫力のあるリスニング体験のために使用します。静止しているときに最適です。
オフ	サウンドはヘッドホンから再生されているように聞こえます。	従来どおりの方法でリスニングしたいときや、バッテリーの消耗を抑えたいときに使用します。

注: ヘッドホンの電源をオンにすると、最後に使用した設定になります。

イマーシブオーディオ機能の設定変更

モードを変更するか、ショートカットを使用してイマーシブオーディオ設定を順に切り替えることで、イマーシブオーディオの設定を変更できます。

ヒント: Bose アプリを使用してイマーシブオーディオ設定を変更することもできます。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「イマーシブオーディオ」をタップします。

モードを変更する

モードを順に切り替えるに、マルチファンクションボタンを長押しします。モードの変更方法は、26 ページをご覧ください。

注:

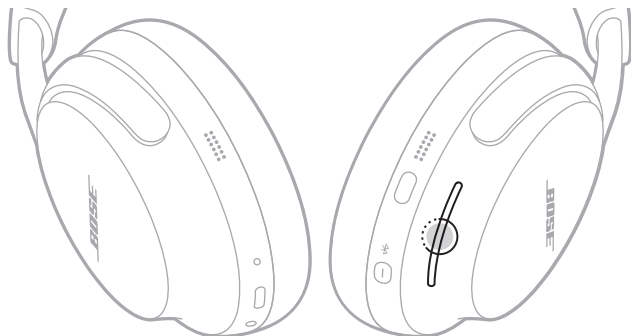
- モードを変更すると、イマーシブオーディオとノイズキャンセリングの設定が両方とも変更されます。
- また、好みのイマーシブオーディオ設定やノイズキャンセリング設定を含むカスタムモードを作成することもできます(25 ページを参照)。

ショートカットを使用する

ショートカットを使用して、現在のモードのノイズキャンセリング設定に影響を与えることなく、イマーシブオーディオ設定を順に切り替えることができます。この方法では、ヘッドホンの電源をオフにするか、モードを変更するまで、現在のモードが一時的にカスタマイズされます。

注: ヘッドホンを使ってイマーシブオーディオ設定を切り替えるには、ショートカットに設定する必要があります(20 ページを参照)。

1. ボリュームストリップを長押しします。



音声ガイドで、それぞれのイマーシブオーディオ設定が順に通知されます。

2. 希望する設定の名称が聞こえたら、ボリュームストリップから指を放します。

リスニングモードはプリセットされたオーディオ設定で、リスニングの好みや環境に応じて切り替えることができます。ノイズキャンセリングとイマーシブオーディオの設定で構成されています。

あらかじめ設定された4つのモード（クワイエット、アウェア、イマーション、シネマ）から選択できるほか、最大7つのカスタムモードを作成できます。

モード

モード	説明
クワイエット	最大のノイズキャンセリングレベルで、 Bose ステレオサウンドを楽しめます。最高レベルのノイズキャンセリング機能により、不快なノイズを遮断できます。
アウェア	最小のノイズキャンセリングレベルで、 Bose ステレオサウンドを楽しめます。ステレオ音楽を楽しみながら、周囲の音を聞くことができます。
イマーション	イマーシブオーディオが「移動」に設定され、最大のノイズキャンセリングレベルで音楽を楽しめます。不快なノイズを遮断し、臨場感あふれるサウンドに浸ることができます。
シネマ	イマーシブオーディオが「静止」に設定され、最大のノイズキャンセリングレベルで音楽を楽しめます。オーディオを空間化し、背景音とサウンド効果のバランスをとることで、ビデオコンテンツを映画のように体験できます。
カスタム	音の好みや環境に合わせて、ノイズコントロール機能(ノイズキャンセリングまたはウィンドブロック)とイマーシブオーディオ設定をカスタマイズできます。 注: Bose アプリを使用して、最大7つのカスタムモードを作成できます。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「モード」をタップします。

注:

- デフォルトでは、電源をオンにするとヘッドホンはクワイエットモードになります。設定を変更した場合は、ヘッドホンの電源をオンにすると最後に使用した設定になります。
- ノイズキャンセリング機能とイマーシブオーディオ機能の設定については、22ページおよび23ページをご覧ください。

ActiveSense アウェアモード

ActiveSense テクノロジーを採用したアウェアモードのダイナミックなノイズキャンセリング機能により、不要なノイズを抑えながら周囲の音を聞くことができます。

ActiveSense アウェアモードでは、突然の音や大きな音が近くで発生したときに、ヘッドホンで自動的にノイズキャンセリング機能が強まり、ノイズにリスニングを妨げられることなく、周囲に注意を向けることができます。ノイズが止まると、ノイズキャンセリング機能は自動的に前の設定に戻ります。

ActiveSense を有効にするには、**Bose** アプリを使用します。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「モード」をタップして、「アウェア」>・・・をタップします。

モードを変更する

注: ヘッドホンのモードにアクセスするには、**Bose** アプリでお気に入りとして設定する必要があります。お気に入りのモードを設定するには、メイン画面の「モード」をタップします。デフォルトでは、クワイエット、アウェア、イマーシジョンの3つのモードがお気に入りとして設定されています。

1. モードを順に切り替えるに、マルチファンクションボタンを長押しします。



音声ガイドで、それぞれのモードが順に通知されます。

2. 希望するモードの名称が聞こえたら、マルチファンクションボタンから指を放します。

ヒント: Bose アプリを使用してモードを変更することもできます。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「モード」をタップします。

お気に入りを設定し、ヘッドホンからカスタムモードを追加または削除する

ヘッドホンのモードを追加または削除するには、メイン画面の「モード」をタップし、お気に入りに設定するモードを指定します。

Bose アプリ、デバイスの *Bluetooth* メニュー、または Fast Pair 機能 (Android デバイスのみ) を使用して、ヘッドホンに機器に接続できます。

ヘッドホンのデバイスリストには、機器を最大 6 台まで登録でき、同時に 2 台まで接続できます (マルチポイント接続)。ただし、一度に音楽を再生できる機器は 1 台だけです。

注:

- 最も良い方法は、Bose アプリを使用して機器を設定し、接続することです (12 ページを参照)。
- Fast Pair を使用した接続については、31 ページをご覧ください。

BOSE アプリを使用して接続する

Bose アプリを使用してヘッドホンに接続し、*Bluetooth* 設定を管理するには、12 ページをご覧ください。

機器の BLUETOOTH メニューを使用して接続する

1. ヘッドホンの電源をオンにした状態で、*Bluetooth* / 電源ボタンを長押しします。電源オフのピープ音が聞こえ、ステータスインジケーターが白で 2 回点滅します。ステータスインジケーターが青く点滅するまで、そのまま押し続けてください。



- お使いの機器の *Bluetooth* 機能をオンにします。

注: 通常、*Bluetooth* 機能は設定メニューにあります。

- 利用可能な製品のリストからヘッドホンを選択します。

注: Bose アプリでヘッドホンに付けた名前を探してください。ヘッドホンに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。



接続すると、ステータスインジケーターが10秒間青く点灯します。

機器の接続を解除する

機器の接続を解除するには、Bose アプリを使用します。

ヒント: 機器の *Bluetooth* 設定を使って接続を解除することもできます。 *Bluetooth* 機能を無効にすると、他の機器との接続もすべて解除されます。

機器を再接続する

本製品は電源をオンにすると、直近に接続していた2台の機器に再接続します。

注:

- 機器が通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。
- 機器の *Bluetooth* 機能が有効であることを確認します。
- マルチポイント接続機能が無効の場合、ヘッドホンは最後に接続していたモバイル機器に再接続します。

別の機器を接続する

デフォルトでは、ヘッドホンは同時に2台までの機器に接続できます(マルチポイント接続)。

別の機器を接続するには、次のいずれかのオプションを使用します。

- Bose アプリ (12 ページを参照)。
- 機器の *Bluetooth* メニュー (27 ページを参照)。
- Fast Pair (Android デバイスのみ) (31 ページを参照)。

注:

- ただし、一度に音楽を再生できる機器は1台だけです。
- マルチポイント接続機能の管理または無効化には、**Bose** アプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。
- マルチポイント接続機能が無効にすると、2 台目に接続した機器の接続が解除されます。

オーディオをストリーミングする際、接続されている2つの機器を切り替える

1. 1台目の機器の再生を一時停止します。
2. 2台目の機器で音楽を再生します。

ヘッドホンがその機器からストリーミングされる音声に切り替わります。

注: 電話がかかってきたら、どちらのモバイル機器で音楽を再生しているかに関係なく、どちらからの着信でも受けることができます。

前に接続していたモバイル機器を再接続する

以前に接続していた機器に再接続するには、Bose アプリを使用します (12 ページを参照)。

ヒント: 以前に接続していた機器の *Bluetooth* メニューから、ヘッドホンを選択して再接続することもできます。

注: 既に2台の機器がヘッドホンに接続されている場合、新しい機器が以前に接続されていた2台目の機器に代わって接続されます。

BLUETOOTHのペアリング済み機器リストをクリアする

1. ビープ音が聞こえるまで、*Bluetooth*/電源ボタンとマルチファンクションボタンを同時に長押しします。



2. 機器の *Bluetooth* リストからお使いのヘッドホンを削除します。前に接続していたデバイスごとに繰り返します。

すべての機器が消去され、ヘッドホンが新しい機器と接続可能な状態になります。

ANDROID デバイスのみ

Android デバイスを使用している場合は、次の接続機能にもアクセスできます。

Fast Pair 機能を使用して接続する

タップするだけで、ヘッドホンと Android デバイスをすばやく簡単に *Bluetooth* ペアリングできます。

注:

- Fast Pair 機能を使用するには、Android 6.0 以降を実行している Android デバイスが必要です。
 - Android デバイスでは、*Bluetooth* 機能と位置情報機能がオンになっている必要があります。
1. ヘッドホンの電源をオンにした状態で、*Bluetooth*/電源ボタンを長押しします。電源オフのピープ音が聞こえ、ステータスインジケーターが白で2回点滅します。ステータスインジケーターが青く点滅するまで、そのまま押し続けてください。



2. ヘッドホンを Android デバイスの横に置きます。

ヘッドホンのペアリングを促す通知がデバイスに表示されます。

注: 通知が表示されない場合は、デバイスで Google Play Services アプリの通知が有効になっていることを確認してください。

3. 通知をタップします。

注: 通知のボタンをタップして Bose アプリをダウンロードし、ヘッドホンの設定を完了することもできます。

Snapdragon Sound テクノロジー

Bose QuietComfort Ultra Headphones (第2世代) は、Snapdragon Sound テクノロジーを採用しています。Snapdragon Sound は、接続された機器全体で Qualcomm® のオーディオ技術を最適化し、ストリーミングオーディオの音質、接続の安定性、遅延を最適な状態にします。

Snapdragon Sound を体験するには、対応する Android デバイスなど、Snapdragon Sound 認定デバイスが必要です。ヘッドホンに接続すると、デバイスは自動的に aptX Adaptive Bluetooth コーデックを使用してオーディオをストリーミングします。

注: ヘッドホンでサポートされる Snapdragon Sound 機能を確認し、デバイスが対応しているかどうかを確認するには、次のサイトをご参照ください。
support.Bose.com/qcu2

AUX オーディオケーブルを接続する

Bluetooth 接続ができない場合、2.5mm - 3.5mm ステレオ音声ケーブルを使用して、ソース機器の音楽を聴くことができます。

注:

- ・ 音声ケーブルを使用するには、ヘッドホンの電源がオンになっている必要があります。バッテリーが切れている場合は、*USB* ケーブルを使用して外部電源に接続し、ヘッドホンの電源をオンにしてください(33 ページを参照)。
- ・ 通話やメディアの再生コントロールは無効になるため、ソース機器で操作する必要があります。
- ・ *Bluetooth* 接続とイヤークップのマイクの音声ピックアップ機能は無効になります。
- ・ ヘッドホンを最大限に活用するには、*Bluetooth* 接続をおすすめします。

1. ケーブルを左イヤークップの 2.5 mm 端子に接続します。



2. ケーブルの反対側をソース機器の 3.5 mm 端子に接続します。

USB オーディオ

ヘッドホンはUSB-Cオーディオをサポートしています。外部電源として接続されたソース機器から音楽を再生するには、USB-Cケーブルを使用してヘッドホンを機器に接続します。

ヘッドホンのバッテリーが切れている場合は、USB-Cケーブルを使用して外部電源に接続することで、充電中もヘッドホンを使用できます。

注:

- ・ヘッドホンの電源がオンになっている間も充電されます。
- ・ヘッドホンのバッテリーが切れ、**Bluetooth**接続ができない状態でソース機器の音楽を聴き続けるには、USB-CケーブルまたはUSB-Cケーブルとステレオ音声ケーブルを接続します(33ページを参照)。

1. USB-Cケーブルを左イヤークップのUSB-C端子に接続します。



2. 充電ケーブルのもう一方の端を、パソコンやウォールチャージャーなどのUSB-C電源に接続します。
3. ヘッドホンの電源をオンにします(14ページを参照)。

注: 以前に接続した**Bluetooth**デバイスに切り替えるには、**Bluetooth**/電源ボタンを1回押します。音声ガイダンスで「**Bluetooth**」と聞こえます。USB-C接続の機器に戻すには、**Bluetooth**/電源ボタンをもう一度押します。音声ガイダンスで「**USBオーディオ**」と聞こえます。

ヘッドホンを充電する

1. USB-Cケーブルを左イヤークップのUSB-C端子に接続します。
2. 充電ケーブルのもう一方の端を、パソコンやウォールチャージャーなどのUSB-C電源に接続します。



ヘッドホンの充電が始まると、ステータスインジケータがオレンジ色に点灯します。ヘッドホンの充電が完了すると、ステータスインジケータが白に点灯します。

注: ヘッドホンは充電中に *Bluetooth*、AUX、またはUSBオーディオモードで使用できます。

充電時間

ヘッドホンを完全に充電するには最長**3時間**かかります¹。

注: ヘッドホンの使用中は充電速度が遅くなります。

再生時間

完全に充電した場合、ヘッドホンを最大以下の時間使用できます。

- ・ ノイズキャンセリングをオンにし、イマーシブオーディオをオフにした状態で、**30時間**。
- ・ ノイズキャンセリングとイマーシブオーディオをオンにした状態で、**23時間**。
- ・ ノイズキャンセリングとイマーシブオーディオをオフに設定した状態で、**45時間**²。

ヘッドホンのバッテリー残量が少なくなった場合、**15分間**充電すると、ノイズキャンセリングをオンにし、イマーシブオーディオをオフにした状態で、ヘッドホンを最大**3時間**使用できます。

バッテリー残量の確認

ヘッドホンのバッテリー残量が低下すると、ピープ音が聞こえます。

注: バッテリー残量を目で確認するには、左イヤークップにあるステータスインジケーターをご覧ください。詳しくは、**38ページ**をご覧ください。

¹ Bose QuietComfort Ultra Headphones (第2世代)の製品サンプルを使用し、2025年4月にBoseが実施したテスト結果。バッテリーが消耗した状態(オーディオ再生ができない状態)でヘッドホンを15分間充電する急速充電テストを実施し、その後、音量を再生ラウドネス75dB SPL、3バンドEQをゼロに設定して、イマーシブオーディオをオフにしたクワイエットモード(フルノイズキャンセリング)でオーディオ再生を再開した結果、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大2.5時間でした。イマーシブオーディオをオンにした場合、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大2時間でした。ヘッドホンが完全に充電されるまでの時間は、バッテリーが消耗した(オーディオ再生ができない)ヘッドホンを100%充電すること求めました。バッテリー駆動時間は設定や使用状況によって異なります。

² Bose QuietComfort Ultra Headphones (第2世代)の製品サンプルと、A2DP Bluetooth オーディオストリーミングによる各種音楽トラックを使用して、2025年4月にBoseが実施したテスト結果。音量を再生ラウドネス75dB SPLに、3バンドEQをゼロに設定し、クワイエットモード(フルノイズキャンセリング)に設定。

ステータスインジケータは左イヤークップにあります。

ヘッドホンを頭に装着したときや外したときには、ヘッドホンの状態に応じてステータスインジケータが5秒間点灯します。

注:

- ヘッドホンを頭に装着している間は、*Bluetooth*/電源ボタンを押すまでステータスインジケータは消灯したままです。
- ヘッドホンを頭に装着していない場合、ヘッドホンの操作をするか、ヘッドホン動かすまで、ステータスインジケータは消灯したままです。



BLUETOOTH接続の状態

Bluetooth 接続の状態を示します。

インジケータの表示	システムの状態
青の点滅	接続準備完了
青の点灯(5秒間)	接続済み
白の2回点滅	デバイスリストを消去しました

バッテリーの状態

バッテリーの状態を示します。

インジケータの状態	システムの状態
白の点灯	充電完了
オレンジの点灯	使用可能な残量

ヒント: Bose アプリを使用してバッテリー残量を確認することもできます。

電源と充電の状態

電源と充電の状態を示します。

インジケータの状態	システムの状態
白の2回点滅	電源オフ
オレンジの点灯	充電中
白の点灯	充電完了

アップデートとエラーの状態

アップデートとエラーの状態を示します。

インジケータの状態	システムの状態
白の3回点滅(繰り返し)	ソフトウェアアップデート中(無線経由)
白の速い点滅(10 秒間)	ソフトウェアアップデート中(USB 経由)
白の点滅(3 秒間)	リセット
オレンジの速い点滅(5 秒間)	出荷時設定に戻す
オレンジと白の点滅	エラー、Bose カスタマーサービスに連絡してください

BOSE SMART SPEAKERまたはBOSE SMART SOUNDBARに接続する

SimpleSyncテクノロジーにより、Bose Smart SoundbarやBose Smart Speakerにヘッドホンを接続して、自分だけのリスニングを楽しむことができます。

特長

- ・ 製品ごとの音量を個別に調節できるので、ヘッドホンの音量はそのままにして、Bose Smart Soundbarの音量を下げたりミュートしたりできます。
- ・ ヘッドホンをBose Smart Speakerに接続して、隣の部屋で音楽をクリアな音で楽しむことができます。

注: SimpleSyncテクノロジーは、最大9 mのBluetooth通信範囲内で機能します。壁や建材の種類によって受信状態が変わる場合があります。

対応製品

ヘッドホンとBose Smart SpeakerまたはBose Smart Soundbarを接続して、音楽を同時に再生することができます。

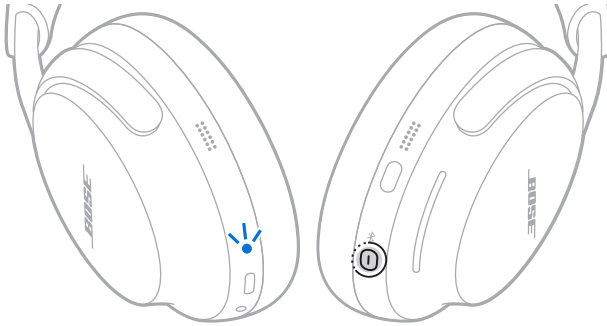
対応製品の例:

- ・ Bose Smart Ultra Soundbar
- ・ Bose Smart Soundbar
- ・ Bose Portable Smart Speaker/Bose Portable Home Speaker

新しい製品も随時追加されます。全製品のリストと詳細については、次のサイトをご覧ください。support.bose.com/groups

Bose アプリを使用して接続する

1. ヘッドホンの電源をオンにした状態で、**Bluetooth**/電源ボタンを長押しします。電源オフのピープ音が聞こえ、ステータスインジケーターが白で2回点滅します。ステータスインジケーターが青く点滅するまで、そのまま押し続けてください。



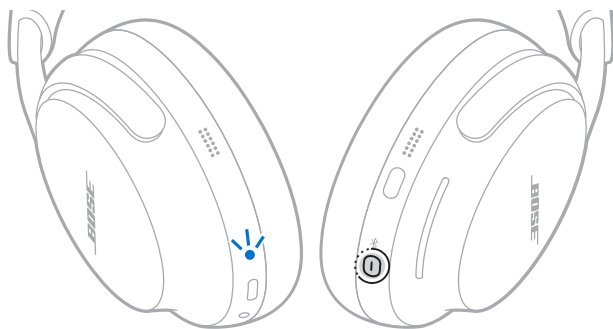
2. Bose アプリを使用して、ヘッドホンに対応する Bose 製品に接続できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.bose.com/groups

注:

- 接続に最大30秒かかる場合があります。
- ヘッドホンがサウンドバーやスピーカーから9 m以内にあることを確認してください。
- ヘッドホンに一度に接続できる製品は1台だけです。

製品を操作して接続する

1. ヘッドホンの電源をオンにした状態で、**Bluetooth**/電源ボタンを長押しします。電源オフのピープ音が聞こえ、ステータスインジケーターが白で2回点滅します。ステータスインジケーターが青く点滅するまで、そのまま押し続けてください。



2. サウンドバーのリモコンまたはスピーカー上部の**Bluetooth**ボタンをライトバーまたはライトリングが青く点灯するまで長押しします。

ヘッドホンがサウンドバーまたはスピーカーに接続され、両方の機器で同じ音楽を聴くことができます。

注:

- 接続に最大30秒かかる場合があります。
- ヘッドホンがサウンドバーやスピーカーから9 m以内にあることを確認してください。

BOSE SMART SPEAKER または SOUNDBAR に再接続する

Bose アプリを使用して、以前に接続していた対応 Bose 製品にヘッドホンを再接続できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.Bose.com/groups

注:

- サウンドバーやスピーカーが通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。
- ヘッドホンを再接続できない場合は、49 ページの「トラブルシューティング」をご覧ください。

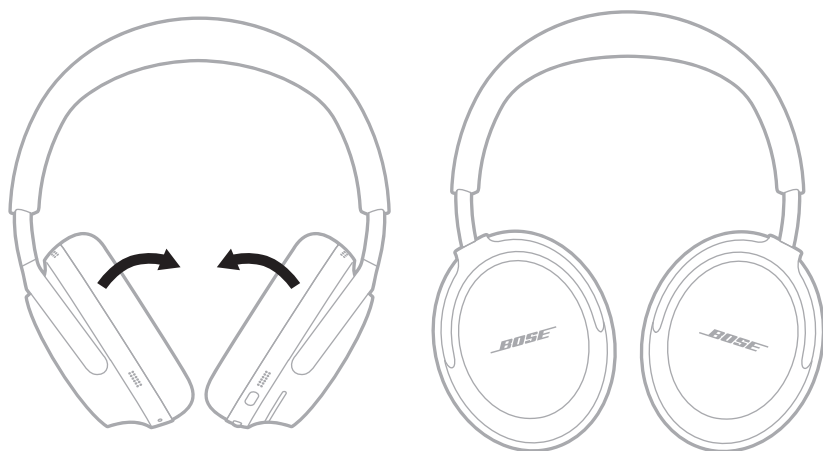
ヘッドホンを収納する

持ち運びに便利のようにイヤークップを回転して収納することができます。ヘッドホンケースに収納します。

1. 両手で左右のイヤークップを持ちます。



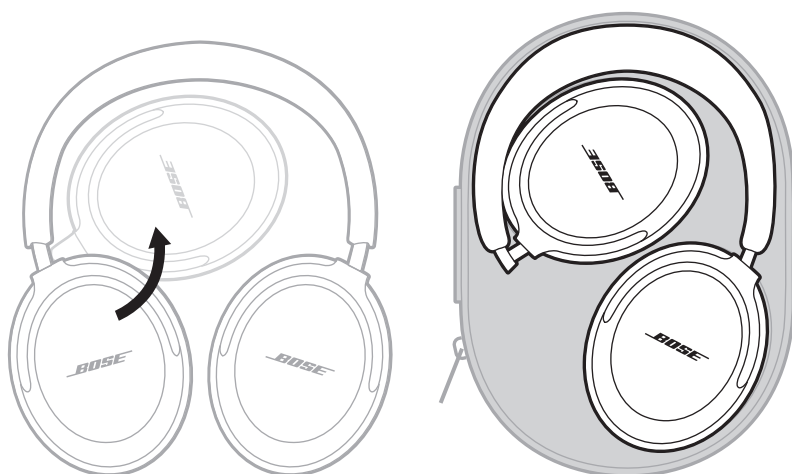
2. 両方のイヤークップを平らになるように回します。



3. イヤーカップをヘッドバンドの方にスライドさせます。



4. 左イヤーカップをヘッドバンド側に折りたたみ、ヘッドホンケースに収納します。



ヘッドホンをアップデートする

ヘッドホンは、Bose アプリに接続してアップデートが利用可能な場合、自動的にアップデートを開始します。アプリの手順に従ってください。

Bose Updater Web サイトを利用して、ヘッドホンをアップデートすることもできます。パソコンで btu.Bose.com にアクセスして、画面の手順に従ってください。

ヘッドホンのお手入れ

ヘッドホンは定期的にお手入れすることをおすすめします。ヘッドバンドやその他の外面をお手入れする必要がある場合は、少し湿らせた布でやさしく拭いてください。

- お手入れは水で湿らせた布で行ってください。洗剤などは使用しないでください。端子やイヤークップからヘッドホンに水分が入らないように注意してください。
- 端子に汚れやゴミを押し込まないでください。端子やイヤークップの内部に空気を吹き込んだり、掃除機をかけたりしないでください。

交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、Bose 製品取扱店、弊社 Web サイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/qcu2

保証

ヘッドホンには限定保証があります。worldwide.Bose.com/Warranty をご覧ください。

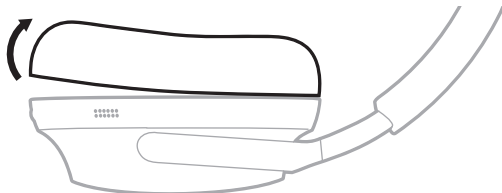
製品の登録をお願いいたします。登録は弊社 Web サイト (worldwide.Bose.com/ProductRegistration) から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

シリアル番号と認証マークの位置

シリアル番号と認証マークは、イヤークップ内側の布地の下に記載されています。内側の布地は、イヤークップ内部の部品を覆い、保護する役割を果たしています。

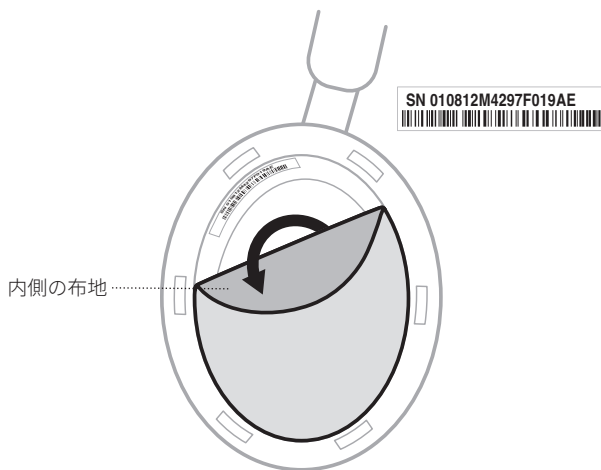
注: シリアル番号は左イヤークップの内側に記載されています。認証マークは左イヤークップの内側に記載されています。

1. イヤークップのクッションの端をつまみ、イヤークップからそっと引き離して、イヤークップ内側の縁にある突起をすべて外します。

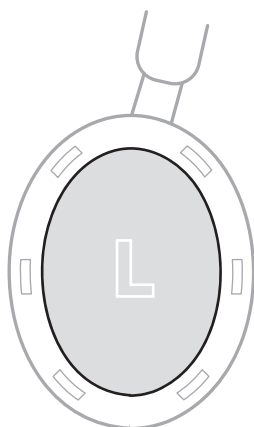


2. 布地の上端をつまんで、情報が見えるまでゆっくりと剥がしてください。

注意: ヘッドホンが破損する恐れがありますので、布地を押し込んだり、イヤークップ内部のほかの部品を外したりしないでください。



3. 布地を元の位置に固定します。



4. クッション取り付けフランジの突起をイヤークップの溝に合わせ、すべての突起が溝にパチッとハマるまでクッションを押します。クッションが正しく固定されると、パチッという音が聞こえ、感触がします。



注意: 適切な音響性能を確保するには、突起がすべてクッションに固定されている必要があります。

トラブルシューティングの記事、ビデオ、その他のリソースには、次のサイトからアクセスできます。[support.Bose.com/qcu2-og](https://support.bose.com/qcu2-og)

それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

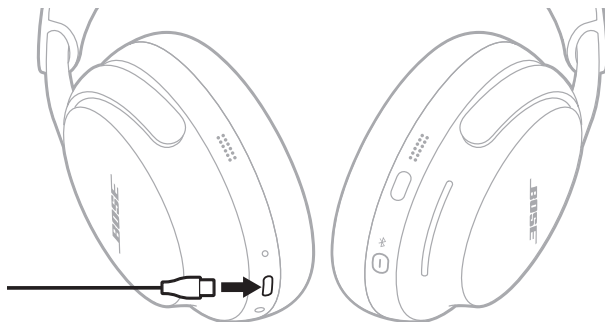
次のサイトをご参照ください: [worldwide.Bose.com/contact](https://worldwide.bose.com/contact)

ヘッドホンのリセットする

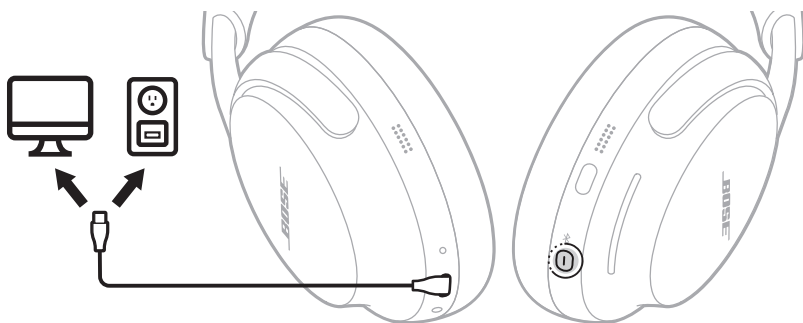
ヘッドホンが反応しない場合は、リセットすることができます。

ヘッドホンのリセットすると、製品のコントロールがリセットされ、ヘッドホンが再起動します。機器の設定は消去されません。

1. モバイル機器の **Bluetooth** リストからヘッドホンを削除します。
2. USB-Cケーブルを左イヤークップのUSB-C端子に接続します。



3. **Bluetooth**/電源ボタンを押したまま、USB-Cケーブルのもう一方の端をパソコンやウォールチャージャーなどのUSB-C電源に接続します。



4. USBケーブルをUSB-C電源に接続したら、**Bluetooth**/電源ボタンから指を放します。

リセットが完了すると、ステータスインジケーターが3秒間白く点滅し、現在の充電状態に応じて点灯します (38ページを参照)。

注: それでも問題が解決できない場合は、support.bose.com/qcu2でその他のトラブルシューティング情報を参照し、サポートをご利用ください。

ヘッドホンを工場出荷時の設定に戻す

工場出荷時の設定に戻すと、すべての設定が消去され、ヘッドホンが箱から出したときの状態に戻ります。その後、初めてヘッドホンをセットアップするときのように設定することができます。

工場出荷時の設定へのリセットは、ヘッドホンに問題がある場合や、Boseカスタマーサービスから指示された場合にのみ行うようにしてください。

1. モバイル機器の **Bluetooth** リストからヘッドホンを削除します。
2. Bose アプリを使用して、Bose アカウントからヘッドホンを削除します。

注: Bose アプリで Bose アカウントからヘッドホンを削除する方法の詳細については、次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/qcue2

3. **Bluetooth**/電源ボタンとマルチファンクションボタンを同時に長押しします。ステータスインジケーターが5秒間オレンジに点滅します。ステータスインジケーターが白色に点灯するまで、両方のボタンを合計15秒間長押しします。



復元が完了すると、ステータスインジケーターが青く点滅します。これでヘッドホンは、箱から出したときの状態に戻っています。

注: それでも問題が解決できない場合は、support.Bose.com/qcu2でその他のトラブルシューティング情報を参照し、サポートをご利用ください。

